

東日本大震災・^まお^ちらいの地域の元気興し

地方創生・新しい総合事業 大見本市

称え合い

S-1グランプリ 第3回いがす大賞

「いがす」とは、「いいね!」「了解しました」などの意味をもつ宮城の方言です。
各地の元気な取り組みを発表し交流することで、互いに称え合い、学び合って、
素敵な地域活動が各地に広まることを願い、S-1グランプリを開催します。

2016年2月に宮城県仙台市で開催する本選でご発表いただける個人・団体を募集中!

- ①東日本大震災で被災した地域での、人とまちを「活かす」「イカしてる」取り組みを広く募集します。あわせて、
- ②東日本大震災以外の災害で生まれた「いがす」実践も募集します。



2016年 **2月20日** (土)

会場：エルパーク仙台 6F スタジオホール

仙台市青葉区一番町 4丁目11番1号 141 ビル (仙台三越定禅寺通り館)

いがす
出場者募集!

応募締切

2015年12月4日(金) 必着
※自薦のみとします

応募者全員に記念品を贈呈!

協賛企業を募集中!

主催：S-1グランプリ 第3回いがす大賞実行委員会

(特定非営利活動法人つどい、特定非営利活動法人雲母倶楽部、一般社団法人パーソナルサポートセンター、
宮城県サポートセンター支援事務所、特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンター、
東北関東大震災・共同支援ネットワーク、特定非営利活動法人Jin)

「S-1 グランプリ いがす大賞」を開催するにあたって

2011年3月11日に発災した東日本大震災の後、地域にはさまざまな住民活動やつながりが生まれました。たとえば小物づくりで新たな仲間ができたり、身のまわりのちょっとした困りごとを仲間同士で助け合ったり・・・など。あなたのまわりにもそういった活動がきっとあるはずです。

S-1 グランプリは、そんな地域や人を想う熱い気持ちのこもった活動を発掘するとともに、発表をとおして学び合い、発信する場として開催しています。応募者同士の交流が生まれることによって、【それぞれの取り組みが、より魅力的な活動になるためのヒントを得る場になること】、そして【各地域での活動が、ひとつの地域だけにとどまるのではなく、多くの地域に広まること】を目指します。

2013年度に始まった第1回いがす大賞には、全国から102件の応募をいただき、福島県浪江町民が暮らす「二本松市建設技術学院跡地仮設住宅自治会」が大賞となりました。また、2回目開催となった昨年度より、開催目的をより明確化するために「S-1 グランプリ」と冠し、被災3県を中心に33件の応募をいただいて、福島県二本松市の「大平北部ネットワーク」が大賞に選ばれました。

あなたのまわりにある取り組みが、被災地復興を後押しするだけでなく、全国各地の地域活動に活力を与えるかもしれません。ぜひ多くの方からのご応募をお待ちしています。

いがす大賞の様子を動画でご覧いただけます

<https://www.youtube.com/watch?v=LXzadS-Wb7o>



第1回 受賞者



二本松市建設技術学院跡地仮設住宅自治会(福島県二本松市)

受賞理由

浪江町の人たちが暮らす仮設住宅で、故郷の味をたいせつにして支え合い、さらに支援をしてくださった人にもその味でお礼を伝えるなど、双方向で交流し、多様な人とつながる意義を私たちに教えてくださいました。



準大賞

釜石あの日あの時甚句つたえ隊(岩手県釜石市)

受賞理由

甚句をとおして市民が体験した震災の教訓を伝える活動は、庶民性とパフォーマンスの芸術性があいまって、本当に人の心にしみわたる、いがす活動でした。

特別賞

高橋久子(宮城県名取市)

受賞理由

仲間とともに故郷を慕う活動はさまざまに取り組まれています。そのなかの代表として、高橋さんのパフォーマンスにみんなが感動し、特別賞を設けることとしました。

活動提案賞

ボランティア「ぐるーぷ なか」(兵庫県宝塚市)

受賞理由

阪神・淡路大震災の被災者が、普通の市民に戻っていく過程のなかで、復興住宅の周辺地域の住民がたいせつにすべきことや必要な支援のあり方を教えてくださいました。私たち3.11のモデルとなる活動です。

第2回 受賞者



大平北部ネットワーク(福島県二本松市)

受賞理由

二本松市の恵まれた自然環境を守り続けるために、8年前に発足。事業の一つ、「田んぼの楽校」には小学生や二本松市に避難されている浪江町民などが参加し、昔ながらの田植えや餅つきで交流。コミュニティづくり、お互いさまの支え合い活動を目指しています。



準大賞

北限の茶を守る気仙茶の会(岩手県陸前高田市)

受賞理由

消滅の危機に瀕した、気仙地域での自家用茶文化を守り育てるべく、メンバー60人が活動。2012年より除染と休眠茶園の再生を始め、今では茶畑管理、茶摘み、伝統製茶の再現、お茶会、茶文化の記録・出版などの活動をおとして、世代間交流がすすんでいます。

地域にあふれる「いがす」な取り組みを募集します

応募対象の取り組みは、たとえば

●隣近所とお茶のみや、おかずのお裾分け、子どもを預け合う取り組みも「いがす活動」の対象です。きちんとした組織になっていなくてOK!

●助け合い活動…地域に暮らす人たちが互いを思いやり、支え合う活動など仮設住宅や仮上げ賃貸住宅(みなし仮設)、災害公営住宅とその周辺地域、広域避難者同士、広域避難者の受け入れなどの支え合いで、自治会や地区社協などの活動に留まらず、ご近所の輪やサークル活動など。

●生きがい仕事…趣味や特技など自分(たち)の経験から生まれた活動がそのまま生きがいとなったり、仕事にまで発展した活動や、地域の課題・社会貢献につながる就労活動など。

●介護等サポートセンターの各種支援員による取り組み…被災地で戸別訪問やサロンづくりなどの生活支援にあたる支援員が行っている、災害公営住宅での地域支援・まちづくりなど。

こんな取り組みの応募もお待ちしています!

●たんぽぽ会

(宮城県石巻市/第2回いがす大賞「のさる賞」受賞)

震災前から、自分たちで振り付けを考えて、地域のお祭りなどで踊りを披露してきたメンバーたち。「みんなの明るい笑顔を取り戻そう」と、地域の歌に振付を考えて仮設住宅などで踊っています。平均年齢69歳。キレのある踊りに、笑顔になること間違いなし!



●株式会社小野花匠園

(宮城県南三陸町/第2回いがす大賞「おがる賞」受賞)

南三陸町で農家を営んでいましたが、震災後、自分に何ができるかを考え、残された農地を利用して仕事を失った人たちが働ける場を創り出そうと、2012年2月に株式会社を設立。年間をとおした生産・加工・販売体制を構築し、高齢者や障害者など社員9人、パート11人を雇用するまでに。

●移動端会議

お店が少ない山間のまちでは、隣町の移動販売車に町内4か所を巡回してもらっています。その際、買いに来て立ち話に花を咲かせる様子を「移動端会議」と名づけて、地区社会福祉協議会が「サロン活動」の一つとして習慣化させています。



●男たちの居場所

ある海辺のまちでは、午後になるとイスの並んだ野外空間に男性たちがポツポツと集まり、気楽な談笑が始まります。冬になると、目の前の手づくりの小屋でたき火にあたり、焼き芋をつくって楽しむなど、シニア男性の秘密基地になっています。



応募の手順



①応募（締め切り）
2015年12月4日（金）

応募用紙

メンバーの顔写真

補足資料



+



+



▶



郵送

必要事項、内容を記載した応募用紙と一緒に活動内容のわかる補足資料（動画、画像、音声、パワーポイントデータなど）を同封し、事務局まで郵送にてお送りください。 ※応募用紙ダウンロードページ <http://www.clc-japan.com/>



②予選審査会（非公開）
2015年12月

あなたの応募内容が
とても「いがす」ので
選考通過しました！



い・が・す

審査基準

- ★ おらほ度⇒自分らしさ、やりたいこと、思いが前面に出ている。
- ★ おもせ度⇒内容がとにかくおもしろい。
- ★ のさる度⇒誰でも気軽に参加でき、いきおいがある。
- ★ おがる度⇒今後の成長に期待できる。
- ★ いがす度⇒これぞいがす！直感に訴えかけるものがある。

審査基準に基づき入選団体を選定します。審査終了後、応募者全員に郵送にて審査結果をお知らせします。予選通過者は大会当日（本選審査）にみんなの前で「いがす」発表をしていただきます！



S-1グランプリ当日（本選審査会／一般公開）
2016年2月20日（土）に宮城県仙台市青葉区
エルパーク仙台にて開催

合言葉は い・が・すっ！



大会当日の本選審査で対象を決定します！ステージ上での持ち時間は3分間以内。ビデオ上映、劇、歌、生演奏、漫才、ダンスなどを取り入れたりと、いがす発表方法は自由です！大会での発表の仕方などは、事務局と打ち合わせをしながら一緒にいがす発表をつくっていくので心配無用です！

S-1グランプリの
一般観覧は無料です

当日の審査方法



審査員
ポイント

+



一般来場者
ポイント

+



企業協賛
ポイント

=

大賞決定

当日のプログラム（予定）

開会式 ▶ いがす活動発表（第1部） ▶ いがす活動発表（第2部） ▶ おたのしみ抽選会 ▶ 審査発表／表彰式 ▶ 交流TIME

審査委員

★印は審査委員長

★大坂 純

特定非営利活動法人雲母倶楽部理事長／仙台白百合女子大学 教授

玄田 有史

東京大学社会科学研究所 教授 希望学プロジェクトリーダー

橋本 由利子

特定非営利活動法人コーヒータム理事長／福島県浪江町民生委員

横山 英子

仙台経済同友会幹事／（株）横山芳夫建築設計監理事務所 代表取締役社長

酒井 保

ご近所福祉クリエーション主宰 ご近所福祉クリエーター

特別審査委員

堂本 暁子

男女共同参画と災害・復興ネットワーク代表／前千葉県知事

博多 和宏

情熱家／吹上ワンダーマップ実行委員会委員長（鹿児島県日置市）

むすび丸

宮城県観光PR担当課長



注意事項および応募の条件

- 子どもから大人まで年齢性別は問いません。自薦のみとします。
- 応募内容について事務局から確認の連絡を入れる場合があります。
- 応募物の返却はできませんのであらかじめご了承ください。
- 応募内容が、第三者の著作権（著作権人格権、意匠権、商標権、その他の権利など）を侵害しないことをご確認のうえ、ご応募ください。また、内容の一部もしくはすべてを、①その発表のために使用（複製、展示、上映など）をすること、②主催者が本事業を広報するため印刷物やホームページ等に利用すること、③本事業の記録として保存や複製することについて、無償で行うことをご了承していただきます。

開催・応募に関するお問い合わせ先

「S-1グランプリ 第3回いがす大賞」実行委員会事務局
全国コミュニティライフサポートセンター（CLC）／

担当：^{せい}の 清野哲史・小野寺知子

〒981-0932 宮城県仙台市青葉区木町16-30
シンエイ木町ビル1階

TEL : 022-727-8730

FAX : 022-727-8737

「S-1グランプリ 第3回いがす大賞」応募用紙

応募締切
2015年12月4日(金) 必着

申込者氏名	ふりがな		
団体名			
所在地	〒	(自宅・職場)	TEL
	都道府県	市町村	携帯
			FAX

①【発表テーマ】

②【活動概要】 ※活動背景、内容、体制(参加人数・活動拠点)、目標、実施実績・アピールポイントなど

③【メンバー顔写真の添付】 +補足資料(ホームページ、動画、音声、パワーポイント資料や新聞記事、紙資料など)は別途添付

④【入選が決定した場合の発表形式や方法】 ※例：ビデオ上映、劇、歌、生演奏、漫才、ダンスなどを取り入れての発表

お申し込み・お問い合わせ 応募希望者はこの申込書に必要事項を記入のうえ、郵送にてお申し込みください。

S-1グランプリ 第3回いがす大賞実行委員会事務局
 全国コミュニティライフサポートセンター(CLC)／担当:清野^{せいの}哲史・小野寺(知)
 〒981-0932 宮城県仙台市青葉区木町16-30 シンエイ木町ビル1階

TEL : 022-727-8730
FAX : 022-727-8737